

女性用トイレにおける行列問題の改善に向けた関係府省連絡会議（第1回）議事要旨

1 日時

令和7年7月9日（水）15：59～16：14

2 場所

中央合同庁舎8号館5階共用C会議室

3 出席者

○議長

阪田 渉 内閣官房副長官補（内政担当）

○副議長

岡田 恵子 内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）兼内閣府男女共同参画局長

鶴田 浩久 国土交通省総合政策局長

○構成員

関 禎一郎 内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）

畑山 栄介 総務省自治行政局地域力創造グループ地域自立応援課長【代理出席】

笠原 隆 文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部長

大坪 寛子 厚生労働省健康・生活衛生局長

南 亮 経済産業省大臣官房商務・サービス審議官

4 議事要旨

○開会

関内閣官房内閣審議官より、資料について、資料1は本会議の開催に係る申合せ案、資料2－1から2－3は国土交通省からの説明資料、資料3は本会議の開催に際しての総理から関係府省に対するメッセージとの紹介があった。

○冒頭挨拶

岡田内閣府男女共同参画局長から以下の発言があった。

- ・これから、花火大会や盆踊り、野外フェス等多くのイベントが開催される季節となるが、イベント会場に限らず、駅や百貨店、アリーナ等の施設において、女性用トイレで長い行列が生じ、著しい待ち時間となることが懸念される。
- ・こうした状況を受け、男女の待ち時間の差ができるだけ小さくなるように、省庁の垣根を超えた政府横断的な推進体制を立ち上げ、行列問題の改善に効果のある好事例を収集・普遍化するとともに、現行のトイレ個数の算定基準の見直しを検討するなどの作業に着手するよう、石破総理から御指示があった。

- ・「経済財政運営と改革の基本方針 2025」においても、「女性用トイレの利用環境の改善に向けて、国内外の動向等の把握を進め、対策を推進する」ことが盛り込まれた。
- ・内閣府男女共同参画局としても、広報など必要な対応に取り組んでいきたいと考えており、関係府省の協力をお願いしたい。

○議事

- ・本会議の開催について

関内閣官房内閣審議官が本会議の趣旨説明を行い、資料1のとおり本会議の開催についての申合せ案が承認された。

- ・女性用トイレに係る行列問題の現状等について

鶴田国土交通省総合政策局長から、資料2-1に基づき、女性用トイレに係る行列問題の現状について、資料2-2に基づき、女性用トイレに係る行列問題の改善に向けた今後の取組案について、資料2-3に基づき、イベント主催者への協力依頼通知案のひな型について、それぞれ説明がなされた。

○閉会挨拶

阪田議長から以下の発言があった。

- ・トイレの総数そのものを短期間で増加させることは物理的に難しいが、出来ることを工夫しながら、男女間の「待ち時間の不平等」の改善を進めることが期待されている。
- ・まずは、国土交通省からの紹介事例を参考にしつつ、関係府省におかれては、所管業界から先進的な取組の収集・整理をお願いしたい。
- ・また、40年以上前に作られた学会のトイレ個数の算定基準を改定することも考えられる。国土交通省を中心に、海外の事例も参考としつつ、今の時代に相応しい基準となるよう、基準見直しの検討・働きかけをお願いしたい。
- ・当面の対応も重要である。関係府省におかれては、この夏や秋に実施される花火大会や秋祭り等に際し、イベント主催者が仮設トイレを設置する際の設置数や設置エリア等について適切に配慮するよう、国土交通省から紹介のあった通知案を参酌し、関係団体への呼びかけをお願いしたい。
- ・関係府省の積極的な取組をお願いする。

以上